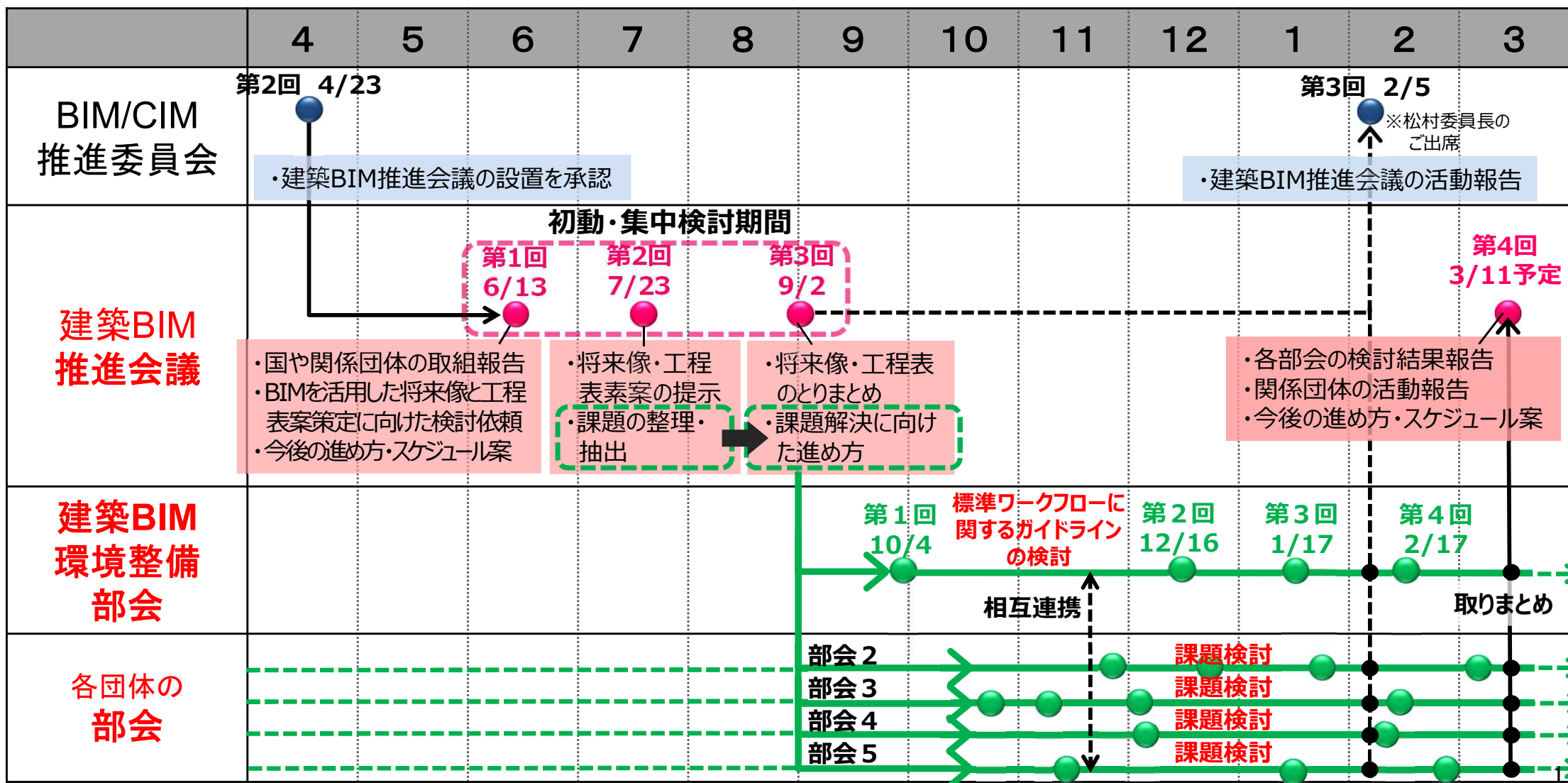


建築BIM推進会議・部会のスケジュール [2019年度]

- 第4回建築BIM推進会議（R2.3/11予定）においては以下を予定。
 - ・ 建築BIM環境整備部会で検討した、「BIM標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン（第1版・案）」の取りまとめ（※今後も継続的に見直し）
 - ・ その他の部会の検討結果報告及び関係団体の活動報告、今後のスケジュールの確認
 - ・ 「将来像と工程表」の概要版の確認等
 - ・ 補助事業を含む次年度の検討内容・スケジュール案の確認



BIMを活用した建築生産・維持管理プロセス円滑化モデル事業(新規)

建築物の生産・維持管理プロセスでBIMを利用可能とするための標準フォーマットや各生産主体の役割分担の議論の成果を実際の建築プロジェクトに活用し、課題や改善方策の報告を行う事業に対し、検証費用を支援する事業を創設。

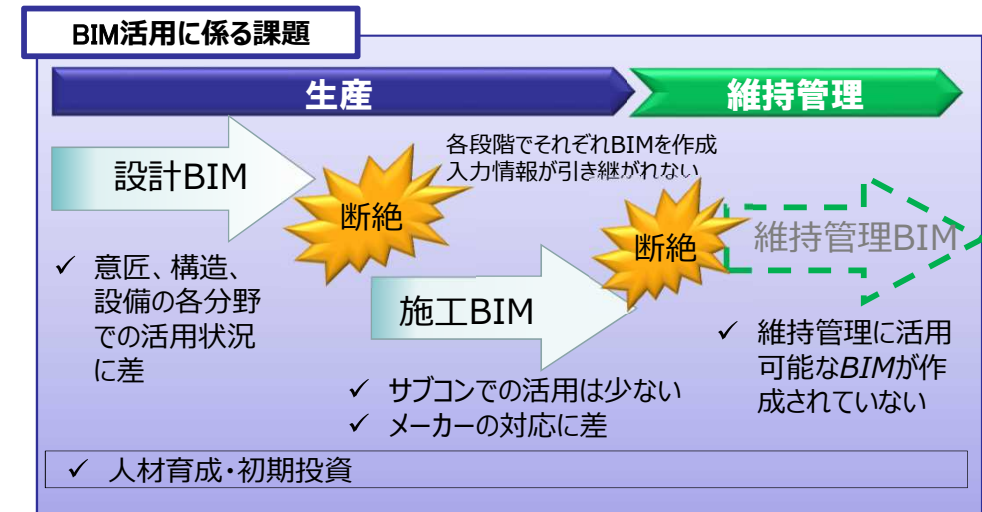
背景・現状

<背景>

- BIMの活用普及により、建築物の設計や生産プロセス全体における業務の効率化を図り、生産性の向上を進めることが必要。
- このためには、生産・維持管理プロセスでBIMを利用可能な環境を整備することが必要。

<現状>

- 建築分野でのBIM活用には、
 - ① BIM導入に係る初期投資(人材育成、設備投資)
 - ② 標準フォーマットの不在(モデル・属性情報がバラバラ)
 - ③ 設計・施工等各分野の役割分担が不明確
 などの課題があり、各種設計分野及び設計・施工等の各分野のプロセスにおいて、BIMが利用されていない状況。
- これらの課題に対応するため、官民一体で構成する建築BIM推進会議を令和元年5月末に設置し、BIMの推進に向けた官民の役割分担・工程表を策定するとともに、以下の実施を予定。
 - ① 生産・維持管理プロセスでBIMを利用可能とする標準フォーマットの策定
 - ② BIMを活用した各生産主体の役割分担の整理



概要

- 補助対象：民間事業者等
- 補助額：定額
- 補助内容：令和元年度に策定する標準フォーマット・役割分担を実際の建築プロジェクトに活用し、課題や改善方策の報告を行う事業に対し、検証費用を支援